

平成25年度 谷本中学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

自他ともに生命を尊重し、いじめや暴力行為をなくすため、人権教育、平和教育、福祉教育の充実を図り、生徒個々の人権感覚を高める啓発と、地域貢献への姿勢を育成しています。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

生徒は人懐こく、進んで挨拶をすることができ、落ち着いた学校生活を送っている。一方、集団の中で自己主張ができず周囲に流される場面や、自分に関わらない物事に対する配慮に欠ける場面も多くみられる。また、「将来の夢や目標」に対する意識も低い。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・学校行事や、他者との関わりから得られる豊かな体験を通して、自尊感情や自己肯定感を高める。
- ・人権・平和課題に全校で取り組み、生命・文化を意識し尊重する姿勢を身に付ける。

指針1「体験活動の充実」

- ・「体育祭」「合唱コンクール」など学級・学年・学校全体とつながる生徒自治活動の話し合いや体験を通して、協力・他者への思いやりなど意識させ、望ましい人間関係や自己を生かす能力を育てる。 【視点3】
- ・キャリア教育の充実を図る。
「1年 出前授業」「2年 職場体験学習」「3年 進路学習」などを通して、各自が自主的・意欲的に自分の進路について考え、見識を広げるとともに、社会の一員であることを実感させ、望ましい勤労観・職業観を育てる。 【視点4】

指針2「確かな人権感覚・意識の育成」

- ・「国際平和スピーチコンテスト」「人権作文」を道徳教育と関連を図り全校で取り組み、自分たちの身近な社会、さらに日本の文化伝統・世界の歴史や現状についての知識・理解を深める。 【視点6、9】
- ・修学旅行での「平和学習」の事前学習・体験を通して人権尊重の精神を育てるとともに、自分・他人の人権を大切にする精神や、自尊感情の育成を図る。【視点6】